



▲ソフトボール壮年の部決勝 思わぬ大差に……

記録的な暑さの中で…

今年の夏は、とにかく暑い…。その暑さは8月後半までも続き、8月27日行われた「夏季スポーツ大会」の日は岐阜市で37度を記録するなど残暑を通り越して酷暑の1日となりました。

大会では、壮年と一般のソフトボールと女子のキックベースが行われましたが、対戦相手との戦いもさることながら、どのチームもこの酷暑という相手が1番の強敵だったようでした。

なお、気になる結果は…、9ページに掲載してあります。



ソフトボール一般の部予選は、乱打戦の連続(小学校運動場)



スーパーキックベースボール大会 これがなかなか思ったように蹴ることができません

広報 ひがししらかわ

1995
平成7年



No.411

人口の動き

—8月末住民登録人口から—

世帯数	908	世帯
人口	3,377	人
転入	1	人
転出	4	人
出生	6	人
死亡	0	人

先月と比較して3人増
昨年同月と比較して
38人減



新校舎へ東中の新しい歴史始まる

今年、東白川中学校にとって大きな節目の年になりました。昭和二十四年開校し、四千九十一人の卒業生を世に送り出した中学校校舎が、押し寄せる時代の波と避けられぬ老朽化によって取り壊され、その隣に作られた新しい校舎での授業が始まったからです。この八月には、卒業生の有志やPTAによる「旧校舎お別れ会」や旧校舎の取り壊しが行われ、九月一日の新学期からは、新校舎での授業が始まりました。

約千人が 来場した 旧校舎 お別れ会

「愛校心と感謝の気持ちで旧校舎の歴史に終止符を」。

八月十三日、「東白川中学校旧校舎お別れ会」が体育館をメイン会場に行われ、在校生や卒業生、歴任教職員など千人を超える皆さんが来場しました。

この会は、現在のPTA役員や卒業生の皆さんが中心になって、旧校舎お別れ会実行委員会（代表・古田公平さん）を発足し、今年四月から準備を進めてきたもの。当日は体育館で、和田義昭校長先生による「思い出のスライド」



思い出を語る吉田博先生

の上映や、思い出を語るスピーチなどが行われました。スピーチでは、旧校舎の工事関係者として、また、教鞭を執られた経験を持つ伊藤精治さん(平)、歴任教員を代表して昭和四十二年から四十七年まで東中に在籍し、現在可児市の帷子小学校の校長を務める吉田博さん、歴代PTAを代表して今井好美さん(西洞)、さらに卒業生を代表して藤井茂樹さん(加舎尾)の四人が、それぞれの立場から旧校舎に対する熱い思いを語りました。お別れ会は、この後、在校生による合唱や参加者全員で校歌を歌って体育館の部を終了し、続いて、旧校舎の玄関前で校章や棟札、看板を取り外すセレモニーが行われました。

旧校舎の不用品 約八百点が再利用

この日は、お別れ会終了とともに、旧校舎、新校舎の内覧ができたほか、この日と翌十四日の二日間は旧校舎の不用品の競売会が行われたこともあって、

お別れ会当日は 中学校同窓会が集中

中学校旧校舎お別れ会の行われた十三日には、この会にあわせて中学校の同窓会がいくつも行われました。

村内の旅館はもちろん、はなのき別館など公共施設や各公園から茶工場などにいたるまで、村内の「屋根」のある、ありとあらゆる広いところは全て中学校の同窓会で埋まったとか。教員として通算で二十四年間にわたり中学校に在籍した今井房雄さん(大沢)は、四会場かけもちという忙しさ。

お別れ会前日には、東京東白川クラブと中京村人会の交流会が行われ、また、時期がちょうどお盆ということも重なったためのこの同窓会旋風。ほとんどの学年が、取り壊される前の母校を一目見ておこうと校内の見学をしたり校舎をバックに記念撮影を撮ったりと旧校舎は人气的。懐かしい会話があちこちで飛び交っていました。



13日はこうした光景がいくつも見られました

旧校舎から



この校舎から新しい歴史が生まれます

終日中学校は大賑わい。旧校舎の中の一室には部活動の記録やアルバムなどが集められた「思い出展示」のコーナーも設けられて旧校舎は、教室から廊下まで人で埋めつくされました。

学校で話を伺ったところ、四月から八月までに、校舎の見学の申し込みがあった学年は十学年以上あったとのこと。特に八月は集中しており、それぞれの世代で中学校に対する思い入れの深さを伺われます。



たくさんのお思い出が詰まった「展示コーナー」

ほくたちが 新しい歴史を作る

昨年十月から工事が始まってこの八月完成となった新しい東

中学校の不用品の競売品には、机やイス、ロッカー類はもちろん中には、ストープや家電製品など、値段が付けられた即売品と入札物品合わせて約八百点あまり。校舎への思い入れからか「何か一品を」という人も多く最終的な売り上げは、七百八十一万点、約五十万円と予想以上の結果となりました。

中学校の旧校舎は、お別れ会を終え、八月十七日から解体が始まり、二十五日ころには、ほぼ解体が終了。旧校舎は四十六年の長い歴史に、静かに終止符を打ちました。

新校舎のもう一つの大きな特徴は、音楽室や図書室、木工室など特別教室を一階に配置したことです。これは「開かれた学校」をめざして配置されたもの。将来的には、夜間や休日などに社会教育の場として広く村民の皆さんが利用できるよう配慮したものです。

九月一日、二期期の始業式に先立って、中学校では、村関係者や工事関係者などを集めて入校式が行われました。

式では、生徒を代表して生徒会長の中戸将成さん（平）が、お礼のことばと、これから自分たちが中学校の新しい歴史を作っていくという誓いのことばを力強く宣言

白川中学校。鉄筋コンクリート三階建てで、景観と耐久性を考慮した瓦葺きの新校舎は、外観も内装も特色が盛りだくさんのつくりになりました。

外観では、中学校のシンボルともいえる時計塔が建ち、内装には、村の特産品東濃ひのきを壁や廊下にふんだんに使っています。また、正面玄関を入った多目的ホールの左右には、樹齢百六十年あまりの東濃ひのきのモニュメントがシンボルとして立っています。

し、生徒全員による合唱や校舎の鍵の管理が村長から田口教育長、和田校長先生へと移管されました。また、式典終了後には、全校生徒が見守る中、正面玄関でテープカットも行われました。

旧校舎の跡地には、来年三月の完成を目指し、新しく給食棟の建設工事がこの九月からスタート。現在の三年生は、わずかの期間かもしれないませんが、全校給食を経験できる予定です。

夏休み中の引っ越しやお別れ会、新しい校舎で迎える二期期。思い出に残る夏休みとなったことでしょう。



生徒を代表してお礼のことばを述べる神戸さん

新時代に向け成果のあつた夏休み

九月一日の二学期始業式の日から小中学校に、また汗気が戻ってきましたが、この夏休みの間に中学生たちが各分野で大きな成果をあげました。

部活動は全ての部が地区大会へ

東白川中学校の現在の生徒数は、百十九人。部員数にばらつきのあることが懸念され、部数の削減が実施されたのが昭和六十三年。現在は、男子バスケット部、女子バレー部、テニス部、剣道部の体育系の部四つと文化系のブラスバンド部だけとなっています。生徒数や部数は減りましたが、部活動の充実ぶりは今も昔も変わっていません。特に今年の夏休みに行われた中学校体育連盟の夏期大会では体育系の四つの部がそろって加茂郡大会を勝ち抜き可茂地区大会に出場する成果を収めました。中でもバスケット部とテニス部は郡大会、地区大会ともに優勝し、県

大会に駒を進める快進撃。バスケット部といえば、伝統的に実力のある部活動ですが、テニス部はここ数年のうちにめきめき頭角を現した部活動の一つ。現在は、全女子生徒五十三人のうち半数の二十人がテニス部員とか。夏の大会では、郡大会、地区大会ともにダブルスの決勝が東白川中どおしとなるなど実力を遺憾なく発揮しました。県大会では、残念ながらバスケット、テニスともに、一回戦で破れましたが、この成果は、来年以降に受け継がれることでしょう。

弁論大会やポスター展でも大きな成果

今年の夏の中学生の活躍は、スポーツだけではありません。八月九日、高山市民文化会館で行われた「第十七回少年の主張岐阜県大会」に三年生の栗本哲尚さん(柏本)が出場し、奨励賞を受賞しました。この大会は、県内各県事務所管内から選ばれた十四人が主張を行うもので、可茂県事務所管内からは栗本さん一人。栗本さんは、六月三日行われた村の主張大会の中から選出され、さらに可茂管内でのテーパーなどの選考によってこの地区の代表として主張したものです。

栗本さんの主張は「もう下を向かないで」。右目に障害を持つ栗本さんがクラスの仲間との交流を通して得た体験を主張したもので、栗本さんは広い会場で堂々と発表を行いました。

このほかにも岐阜県企画部が行った「省資源・省エネルギーを呼びかけるポスター」募集に三年生の選択科目で美術を専攻する十人が応募。県内応募数九十点の中から久須見の五十川美奈さんが「岐阜県ものを大切に作る運動推進会議会長賞」を西洞の河田美佳さんが「助省エネルギーセンター東海北陸支部長賞」をそれぞれ受賞しました。新校舎になって新しい歴史を刻む中学校。新時代に向けて運動に文化活動に収穫の多かった夏休みとなりました。

体の不自由な皆さんとの交流を深める

今年で四回目となる夏休みを利用したボランティアスクールが、八月二十二日行われました。今年の参加者は、男子生徒七人を含む、中学校一年から三年までの十六人。昨年までは、手話教室やせせらぎ荘の訪問などがそのおもな内容でしたが、今回は、白川町坂の東の心身障害者小規模授産所「白竹作業所」を訪ねました。

この施設は、生まれつき障害を持つ方や交通事故などで障害を負った方が十一人利用しており、竹細工や木工製品を作っています。訪問した子どもたちは、最初のうちこそ、ものおどじしていたようですが、徐々にその場の雰囲気に慣れてくると、利用者の皆さんと一緒に竹の貯金箱を作ったり、合唱をしたりといういろいろな形で交流を深めたようでした。障害者福祉について真剣に考える機会になったことでしょう。

の題



始業式で行われた中体連結果報告会で表彰伝達を受けるテニス部の皆さん



交流会で作品を発表する参加者たち

夏話

朝市、鮎かけ、盆踊り大盛況の夏まつり

村のお盆のイベントとしてすっかり定着した「ふるさと夏まつりザ五介」。今年も八月十四日、役場前をメイン会場に行われ、大盛況となりました。

うれしい悲鳴！

三千人を超える皆さんが来場

このイベントの呼び物の一つは、「朝市」。神土運動場では、午前六時三十分からのラジオ体操終了後、朝市がスタート。新鮮野菜あり、うどんなどのバザーありと朝食かたが



盛り上がった夏まつりの最後を飾った「くじ餅投げ」

た来る家族連れなどで大賑わい。また、すっかりおなじみの「魚のつかみ取り」や「乗馬コーナー」は、子どもたちであふれ、朝から上々のスタートとなりました。

時を同じくして、中川原をメイン会場とした鮎釣り大会「ヒガシシラカワズカップ」も午前八時、予選スタート。午前九時までの予選、九時三十分から十一時三十分までの決勝は、「腕に覚え」のある皆さんの白熱した戦いが繰り広げられました。



恒例の魚つかみ…ウナギはなかなかつかまらない

メインイベントは、役場前駐車場で午後四時から。昨年もこのイベントに出演したビブrossの歌謡ショーからのスタートでしたが、出足こそ人はまばらだったもののあたりが暗くなるころから徐々に集まりはじめ、七時をまわったころから終了の十時までは、歩き間もないくらいの大盛況でした。

この日も活躍

森の交流大使

この日メインイベントの司会を務めたのは、森の交流大使の水谷さん、広江さん。「ジャンケン大会」や「天才クイズ」では、子どもたち相手に大奮

闘。イベントを大いに盛り上げてくれました。

このメインイベントでは、中学生のブラスバンドや松茶太鼓、芸能人の歌謡ショーなどもさることながら、今年新たに内容に盛り込まれた盆踊りは大人気。七時から九時から、それぞれ一時間づつと限られていましたが、三味線クラブ、民謡教室の皆さんによる生演奏や民謡クラブ、木犀会、どんぐり会の皆さんの踊り、特設のやぐ

ヒガシシラカワズカップ鮎・加子母の伊藤さんが栄冠

「ヒガシシラカワズカップ鮎」には、県内外から七十三人が参加。今年、好天が続いたこともあって水量が少なめでしたが、うまい人にはかかるものです。三時間で競われた予選では、最高匹数が親アユ込みの十四匹の方を筆頭に通過者は十二人。

が村外の人だったことは少し残念ですが、それだけこの大会がメジャーになった証拠かもしれません。☆結果は次のとおり(敬称略)
①伊藤文生②安江竹司(平・八匹)
③田口喜一(陰地・七匹)

らも登場して、さながら「郡上踊り」を思わせる雰囲気を出しました。

午後十時からのくじ餅投げで全日程を終了し、長い一日は終わりましたが、ほとんどのバザーが終了を待たずに完了するなどその人気は保証つき。暑い夏を忘れさせる一時となりました。



幾重にも輪が広がった盆踊り



上位3人には来年のシード権が...

決算

平成六年度財政事情の公表

平成六年度の決算認定が九月定例議会に提出され、審議承認を受けます。私たちの村の「家計簿」はどのようなになっているのでしょうか。また、私たちの納めた税金の使い道はどのようになっているのでしょうか。今日は、村民の皆さんに村の財政状況をご理解いただき、より一層村政に関心を深めてもらうため、平成六年度の財政事情を見ていきたいと思います。

総額54億287万円の使い道

一般会計

村の会計年度は、毎年四月一日から翌年の三月三十一日までです。しかし、三月末日で全ての会計を締めることはできませんので、五月末日までを整理期間とし決算をまとめます。

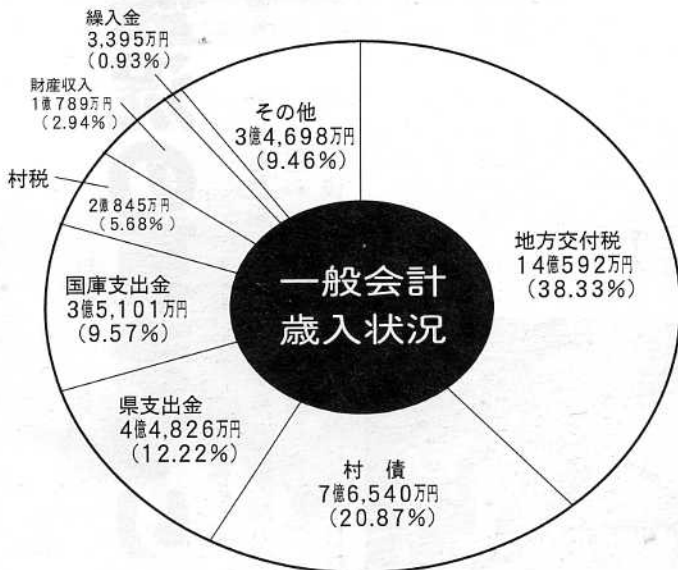
まとまった決算は、監査委員の審査を受けた後、九月の定例議会で審議され承認を受けることになっています。

六年度の一般会計の決算額は、歳入で三十六億六千七百四十九万四千七百円、歳出で三十五億六千四百四十九万四千七百円、差し引き一億三千三百万円を翌年度へ繰り越すこととなりました。これは、前年度に比べると、歳入で〇・三割の減、

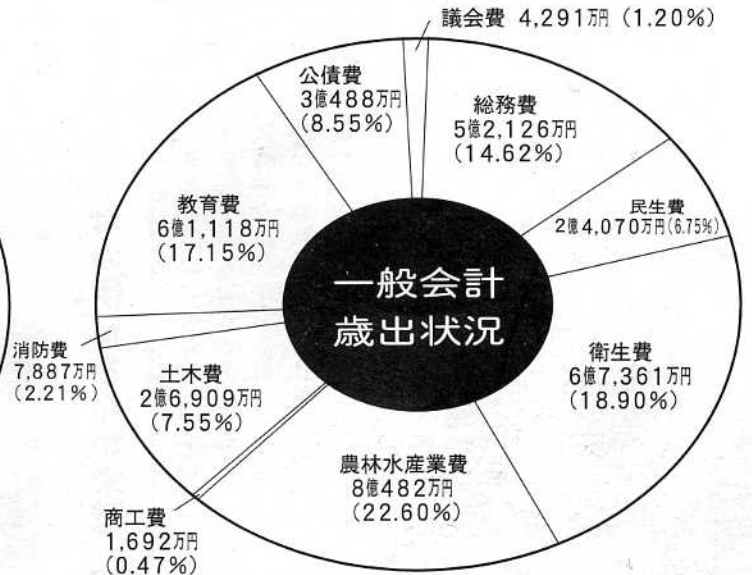
出は、一・七割の増となりました。

前年度に比べ、一千三十四万九千円の減となった歳入で最も大きな割合を占めるものは、所得税、法人税、酒税などを財源に国が地方へ一定の基準で交付する地方交付税です。六年度は、前年度よりも五・五割増の十四億五百万円余となりました。次いで、村債、県支出金、国庫支出金と依存財源が続き、依存財源は、歳入全体の八三・一割を占めています。皆さんから納めていただいた村税は、前年

■村に入ってきたお金（一般会計）
歳入総額 36億6,786万円



■このように使いました（一般会計）
歳出総額 35億6,427万円



特別会計

村には一般会計とは別にそれぞれの目的によって設置した六つの特別会計があります。

平成6年度の特別会計は、歳入総額が18億4千万円余、歳出総額が18億3千万円余となりました。

会計別にみると、国民健康保険特別会計は、歳入では前年度の繰越金が減ったことなどから、前年より10.5%の減となり、歳出では、保険給付費は減ったものの老人保健へ出される拠出金は前年より6.9%増となり、高齢化社会の一端を伺うことができます。国保会計歳出全体では、病院への繰出金が減ったことなどにより、前年より8.5%の減となりました。70歳以上と65歳以上で寝たきりなどのお年寄りの医療費を取り扱う老人保健特別会計は、歳入で12.1%、歳出で15.1%伸びています。有線放送電話特別会計は、本部機器の更新事業が完了したことにより、歳入、歳出ともに70%以上の減となりました。簡易水道特別会計は、水道工事が本格的に軌道にのったことにより3割以上の増になりました。

東白川病院事業会計では、年間の延べ患者数が39,547人となりました。これは前年と比べると入院患者数が減り、外来者数が増えています。入院者数の減少からは訪問看護の充実が伺えます。

特別会計一覧表

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	2億2,476万円	2億1,470万円
老人保健特別会計	3億2,376万円	3億2,197万円
有線放送電話特別会計	3,354万円	3,001万円
分収造林費特別会計	300万円	299万円
簡易水道特別会計	8億923万円	8億591万円
病院事業会計 (損益勘定)	4億4,057万円	4億5,243万円
(資本勘定)	681万円	1,059万円
計	18億4,167万円	18億3,860万円

より二・一割減の二億八百万円余となりました。
歳出では、総務費が庁舎の建設などが一段落したことにより、九億三千六百万円余の減となり、五億二千百万円余。民生費は、社会福祉関係の事務を保健福祉課へ移したことや地域福祉基金積立金財源の減額などにより前年よりも一七・九割減の二億九千三百万円余となりました。

「魚の宿」の整備や、地域特産物直売施設「白川茶屋」、レトルト食品の加工を可能にした「味の館2号館」の整備などを行った新山村振興農林漁業対策事業、林道の開設、改良などが大きな割合を占めています。
前年度に比べ二八〇割と著しい伸びを見せたのは、教育費です。これは、例年通りの事業に加え、国の景気対策により一年早めて六年度、七年度の二か年で着工となった中学校の改築によるものです。また、保健福祉センターの建設によって衛生費も前年度に比べ一〇四・九割増の六億七千三百万円余となりました。

良工事の着工などを行った土木費は、前年度に比べ五七・三割増となる二億六千九百万円余となり、大幅な伸びとなりました。
村の借入金償還金である公債費は、三億四百万円余で歳出全体の七・七割を占め、前年度に比べると一二・八割の伸びとなりました。
そのほか議会費、消防費、商工費などに使われました。

全体伸びが示すように平成六年度は、中学校校舎改築工事の着工や保健福祉センターの建設、はなのき別館の建設など二十一世紀に向けての村の活性化を図り、積極的に各種事業を推進した一年となりました。

税負担の状況

【単位：円】

税項目	一世帯当たり	一人当たり
村民税	95,551	25,477
固定資産税	121,798	32,475
村たばこ税	9,493	2,531
軽自動車税	5,166	1,377
土地保有税	124	33
計	232,132	61,893

★税負担額は、平成7年3月31日末人口で単純に割ったものです。従って法人関係分も含まれています。

村民一人あたりの村税負担額は六万円

村民の皆さんから納めていただいている村税は、平成六年度二億八百万円余。これを税目別にわけて、今年三月末の人口で単純に割ったものが左の表です。一人あたりの税負担額は、約六万一千円となりました。

税目別では、固定資産税が一億九百万円余で全体の五二・五割、次いで個人、法人を合わせた村民税が八千五百万円余となり四一・二割を占めました。この村税は、前ページのグラフのように歳入全体の五・七割。また村税を含めた自主財源は一六・九割となり、村の財政事情は相変わらず厳しい状況といわざるをえません。

おしせ おらせ

こんにちは 社協です

夏休み期間中十三人の高校生たちが、一日せせらぎ荘でボランティア体験を行いました。お風呂で利用者の皆さんの背中を流したり、一緒にゲームをしたりと楽しい笑い声が、響いていました。

夏休みの一日をボランティアとして活躍してくれた児童、生徒は合計三十三人。来年もお待ちしております。

子どもの人権専門委員 (オンブズマン) 制度発足

岐阜県地方事務局と岐阜県人権擁護委員連合会では、子どもの権利と人権を守るための専門委員制度を発足させました。これは多発する「いじめ」

問題をはじめ、子どもの虐待や酷使、差別等、あらゆる子どもの権利と人権を守るための制度です。子どものことに関して悩みをお持ちの方は、どんな小さなことでも結構です。もちろん相談内容の秘密はかたく守られ無料です。

加茂郡の子どもの人権専門委員は、肥田満郎さん(川辺町 ☎〇五七四(五三) 三六三五)です。また、法務局には「子どもの人権」相談専用電話が設置されています。悩みや疑問は迷わずにご相談下さい。

「子ども人権一〇番」
☎〇五八(二四〇) 五五一〇

無料法律相談所

が開設されます

十月一日から七日までは、

「法の日」週間です。この期間中の十月三日、県民の皆さんに「法の役割」を理解していただくため、裁判所、検察庁、法務局及び弁護士会共催で、無料法律相談所を開設します。

また、裁判所の役割をより一層理解していただくために裁判の傍聴や裁判所の見学をさせていただければと考えております。個人、団体を問わず傍聴、見学は随時行っておりますので希望される方は岐阜県地方裁判所事務局総務課庶務係までご連絡下さい。

「無料法律相談所」

●と き/十月三日(火)

午前十時～午後三時

●ところ/マーサ21四階

マーサホール

「問い合わせ先」

岐阜県地方裁判所総務課庶務係

☎〇五八(二六二) 五一一一

平成七年国勢調査

が実施されます

十月一日、全国一斉に国勢調査が実施されます。日本に

住んでいるすべての人が調査の対象となり、今回は全国で一億二千五百万人に及ぶと見込まれています。

国勢調査は大正九年以来、五年ごとに実施され、今年で十六回目となり、今回は特に二十一世紀の指針となる統計の提供が期待されています。調査内容は、氏名、性別、就業状況など十七項目です。この内容を統計以外の目的に使うことは、法律で固く禁じられていますから、安心してありのままをご記入下さい。

調査の結果は、国や県や村が将来の行政を考えていくための大切な資料となり、具体的には、高齢者問題、住宅、教育、環境など私たちの暮らしのさまざまな分野で生かされていきます。つまり、あなたが記入された答えが貴重な財産となり、また、日本一住みよくなるさと岐阜県を築くための道しるべとなります。

九月下旬から十月上旬に調査員がお伺いしますので、皆さんのご協力をお願いします。

動物は正しく飼いましょう

動物愛護週間

9月20～26日



保健婦だより

見逃すな/病気の早期サイン

健康管理のキーポイントは、ライフスタイルの改善とともに一度病気がかかったらできるだけ早期に発見し芽のうちに摘み取ることが大切。病気がまだボヤの段階なら、消火作業も簡単で完全に火を消し止めることができます。ぜひ、病気の早期発見早期治療を心がけましょう。

私たちが病気になる、体や心から必ず何らかの悲鳴があるもの。いつも体や心から発する悲鳴に注意深く耳を傾け、病気の早期サインを見逃さないで、

十月は「高齢者」雇用推進月間です

本格的な高齢化社会の到来を迎え、今後とも活力ある社会を維持していくうえで高齢者の雇用就業の場の確保は、最重要課題となっています。労働省では「高齢者等の雇用の安定などに関する法律」に基づき、高齢者の総合的な就業対策推進のため、十月を「高齢者雇用促進月間」と定め、高齢者の雇用就業問題について、次の三点を重要課題とする高齢者雇用促進運動を展開しています。

- (1)六十歳定年を基盤とし六十五歳までの継続雇用推進
- (2)高齢者の多様な形態による雇用・就業機会の確保
- (3)高齢期における雇用・就業の支援

万一の事故に備えて 自賠責保険への加入を

ミニバイク(原動機付自転車)や、小型バイク(軽二輪車)のナンバープレートに張ってある、青いステッカーをご存じですか。これは保険標章(共済標章)と呼ばれるもので、バイクの自賠責保険(共済)の契約が満了になる

年月を表示しています。自賠責保険への加入は法律で義務づけられており、違反すると六か月以下の懲役または五万円以下の罰金が課せられます。場合によって免許停止処分となることもあります。また、無保険者で交通事故を起こした場合、被害者への賠償金はすべて加害者が支払わなければなりません。本人はもちろぬ、家族にとっても思いがけない負担となります。毎年九月は「無保険(無共済)バイクをなくそうキャンペーン」です。バイクは手軽で便利ですが、一歩間違えば大惨事になりかねません。自

賠償保険には必ず加入しましょう。

もう一度働きたい女性のためのワープロ講習

県女性就業促進センターでは、技術講習「ワープロ」を次の日程で開催します。

▼期間/十一月二十一日、十二月二十一日・月・金曜日の二十一日間▼時間/九・三〇〜一五・三〇▼場所/美濃加茂市中央公民館▼受講料/無料▼申込/十月十八、十九日に美濃加茂市役所玄関ロビーで受付▼詳細は、県庁内の同センター☎〇五八(二六四)一二二一(内線)三七二まで。

十月一〜七日までは 全国道路標識週間

十月一日から七日までは、「全国道路標識週間」です。県では、この期間、道路標識を一層利用しやすいものにするため、点検や見直しを行います。

ふだん車の運転中、標識についてお気づきの点やアイデアがありましたら、次のところまで、はがきか封書であなごの意見をお寄せ下さい。

〒五〇〇 岐阜市藪田南二一〇一 岐阜県警察本部標識BOX係または、岐阜県庁標識BOX係まで

けいじばん

【戸籍】(敬称略)

● 誕生おめでとうございます

- (柏 本) = 安江 雅次 ともみ 朋美
美紀 しん 舜
- (久須見) = 古田 晃裕 かほる
- (下親田) = 安江 正明 なほこ 尚子
節子 りえ 里江
- (柏 本) = 田口 昌克 ゆえ 友里
ナンシー はたる 蛭光
- (平) = 今井 邦廣 ひかる 光
三和子

【善意】(敬称略)

- 【社会福祉施設整備指定寄付】
現金1万円 = 安江富士夫(東京都)
- 【中学校施設整備指定寄付】
現金42,492円 = 昭和37年度東白川中学校卒業生一同
- 【せせらぎ荘へ】
現金11,000円 = 東白川G盆会コンベ事務局
現金40万円 = 平和祈念碑建立実行委員会
- 【東白川中学校へ】
花びん1個 = 昭和24年度卒業生一同
- 【神土保育園へ】
おゆうぎ用子ども服3着 = 村雲康彦(大口)
おみこし用はりぼて = 神土子ども会
- 【東白川病院へ】
飲み茶10キロ = 神土製茶工場

TOPICS

挑戦

お母さんといっしょに楽しいひととき「母と子の料理教室」



慣れない手付きで挑戦する子どもたち

八月十二日、はなのき別館の調理室を会場に「母と子のお料理教室」が開かれ、お母さんたち八人と子どもたち十五人が参加し、料理づくり

とみそのチーズ焼」、「えのき茸とキュウリの中華風あえ」、「カボチャのホイップゼリー」の五品。少々難しい名前ばかりのこの食品に、子どもたちはお母さんといっしょに包丁やフライパンを片手に慣れない手付きで悪戦苦闘。

料理は女性のするもの”なんて考えは、

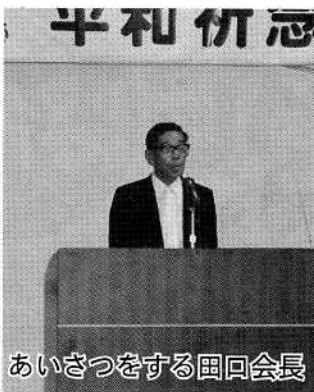
ずいぶん昔の考え方で今は男性でも台所に立つ時代。今回の料理教室にも子どもたち十五人の中の六人は男の子。作り終わった後の感想文でも「包丁が使えてよかった」などの言葉もみられるなど成果のあった教室でした。



会場では笑い声が絶えませんでした

念祈

願いは恒久平和 終戦の日に「平和祈念大会」



あいさつをする田口会長

戦争終結から五十年。終戦記念日の八月十五日「平和祈念の碑」除幕と「平和祈念大会」が行われました。これは、帰

還元軍人の皆さんが中心となって行ったもの。「平和祈念の碑」は、今年が節目の年という意味から、帰還元軍人の皆さんが今年二月、建立委員会を設立。慰霊塔の向かって左隣に設けられました。この碑の除幕式の後、はなのき別館での「平和祈念大会」では、田口諫男会長（神付）のあいさつに続き、委員を代表し今井啓市さん（陰地）が平和宣言を声高らかに朗読。

また、引き続き

正午からは「全国戦没者追悼式」のラジオ放送に合わせ慰霊塔前で黙祷の後、集まった皆さんが英霊に献花を捧げました。

二度と同じ過ちを繰り返さないために：“平和の祈りが込められた式典となりました。



慰霊塔に献花を捧げる皆さん

郷帰

お帰りなさい！ 両村人会から 交流会に三十四人が参加



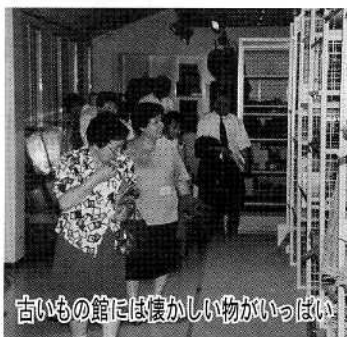
平和祈念館を見学する参加者の皆さん

毎年、来るたびに次々に新しい、素晴らしい施設ができていくことにはびっくりさせられま

すね”。参加者からこんな話も飛び出した恒例の東京東白川クラブと東白川村中京村人会との交流会が、八月十二日に行われました。

今年、翌日に中学校旧校舎のお別れ会や中には同窓会などが予定されていた方もあるなど、両村人会から例年よりもやや多い三十四人の参加者がありました。

交流会では、ふるさとを遠く離れている皆さんに、今の村の姿を少しでも知ってもらおうと



古いもの館には懐かしい物がいっぱい

役場庁舎や古いもの館、平和祈念館などの見学も行われ、また、はなのき会館では過日放送された「村と戦争」のビデオ上映会も行われるなど郷愁あふれる交流会となりました。

話題集まれ!

白熱

猛暑の中の熱き戦い

夏季スポーツ大会

八月二十七日、総合運動場ほか三会場で「夏季スポーツ大会」が行われました。

昨年までの「村民親睦ソフトボール大会」の内容を少々グレードアップし、女子の部にスーパーキックベースを加えたこの大会。一般ソフトに十チーム、壮年ソフトに九チーム、キックベースに八チームが参加し、二百五十人を超える皆さんが炎天下のもと熱い戦いを繰り広げました。今年加わったキックベース。ルールは野球やソフトとよく似ていますが、ボールがドッジボールくらいのもので、バットを使うのではなく、ピッチャーから転がされた投球を足でけるもの。守備では、ランナーにボールを当てるアウトになるドッジボール殺法などもあります。決勝戦は日向チームと栃山・黒淵チーム。ともに二試合づつを戦っており「もう足がパンパンで」と少々お疲れの様子でした。

なお、大会結果は次のとおり。
 ☆ソフトボール
 「壮年」①平東
 ②陰地③親田、
 御用打「一般」
 ①教員②平③陰
 地A、陰地B
 ☆スーパーキック
 ベース
 ①日向②栃山・
 黒淵③大明神、
 陰地上。



スーパーキックベースに優勝した日向チームの皆さん

評価

村の特産 お茶を生かした

「白川茶焼」が入選



入選した「白川茶焼」。県大会が期待されます

去る八月二十九日、可茂総合庁舎で行われた「可茂地区大衆味おこしコンクール」のアマチュアの部に下親田の安江千伴子さん、安江滝子さんの作品「白川茶焼」が見事入選しました。

このコンクールは、県の大衆味おこし運動の一環として行われたもの。アマチュアの部だけでも二十六点の応募があり、そのうち入選はわずか四点でした。安江さんお二人の「白川茶焼」は、六月行った朴葉ずしまつりの中の「木の葉料理コンテスト」の入賞作品。煎茶をすりつぶした粉を使ってお茶風味のいわゆる「おやき」。お茶のがみを取るためゴマを使ったり、お茶の生葉や煎茶を表と裏に押し焼きしたりと白川茶の風味にこだわった逸品です。

「予想もしなかったこととてにかく驚いた」と話してくれたお二人。「家庭で手軽にできる健康食品で子どもにも評判です」と滝子さんが自信作について話せば、「村の特産品に育てて下されば」とは千伴子さんの話。
 「白川茶焼」は十月に下呂で行われる岐阜県大衆味おこしコンクールに出品されます。

出現

夏の夜の夢?

あの幻の珍獣報告第二弾

八月のある日、役場に届けられた一枚の写真。これは紛れもなくあの幻の?。形が似ているだけでなく、ウロコのような外皮で足らしきものはない。目は大きくて位置もヘビやトカゲとは異なっている。村に何度も探索に訪れ、目撃経験も持つ未確認生物研究会の手嶋重信さん(横浜市)も「これまで見たものとそっくりで、子どもではないか」との意見。

この写真は、名古屋市在住の主婦の方が撮影したもの。その目撃談によれば「目がクリッと動いた、足はなく、口が耳元まで裂けていた」とか。村の榎の子探そう会(会長・大坪信也さん)では「村で見つけたものではないから」とか「それでもこれだけ鮮明に写っていると…」など上へ下への大騒ぎ。とりあえず鑑定を、と岐阜市の名和昆虫博物館に依頼したところ、その返答はピロウドスズメガという蛾の幼虫とのこと。

平成四年に付知で見つけたものはトカゲで今回は昆虫。やはり幻なのでしょいか?。



これなら見間違えてもしかたがない…?



ふるさとの夏まつりより

今月の笑顔さん

四国松山は俳句の都、正岡子規を筆頭にあまたの俳人を生んだ伝統は今も盛んで、市内各所に投句箱が設けてあり、優れた作品には市から賞品が出るとか。そして漱石の「坊ちゃん」が生れた所でもあります。
肩に来て人なつかしや赤蜻蛉あかたんは
夏目漱石
大空に又わき出でし小鳥かな
高浜虚子
次から次へと涌き出すように現れて秋空を飛ぶ渡り鳥の**大群**。こんな光景を見た人には、納得できる句です。
三日月やこの頃萩の咲きこぼれ
河東碧梧桐
四十路さながら雲多き午後曼珠沙華 中村草田男
漱石を除いた三人、いずれも松山出身の俳人です。

みんなが公園…のよつたふりへーじ

「涼を求めて……」

今井 季彦（白川町黒川）

八月九日、あまりの暑さのため、どこか近くで涼しいところはないものかと近所のおばさんを誘って家内とともに五介の滝を訪れました。以前と違ってすっかり整備され、足元もよくなり冷たい滝の水をすくえば、まさに涼気満点、黒川にもゆかりのある五介とは、盗賊でしたが、近郷の私たちにとっては、むしろロマンを感じる人のような気がしてなりません。そんな話をしながら更に足を延ばして五加バイパス沿いの白川茶屋へ。初めて来てみましたが、検造りの建物の中は冷房完備、中には囲炉裏があり、また、昔懐かしい山ゴトクもあってうれしくなりました。茶屋の当番の方々も至って丁寧で、感じよく「今日は今井さんばかりで親戚同志ですね」とお互いにこの地方の方言も出し話が弾んでおりました。おいしかった五平もちをお土産に包んでもらい次は村役場横から緩やかなカーブを登ったあたり素晴らしい建築物が二つ三つ。その立派さと環境調和の見事さには目をみはりました。諸施設に対する村当局のお心遣いがしのばれました。

お便り



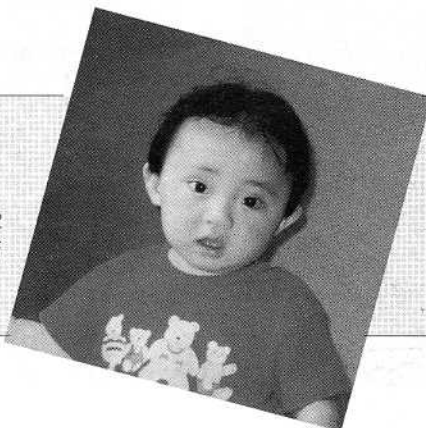
職場から

養蚕

「蚕が、かわいしいこの仕事が好きだからやめられないのでしょね」と話してくれたのは、大神の田口勝司さん。今月は、養蚕農家をお訪ねしました。

養蚕といえは、以前は村の主要産業でしたが、安価な輸入製品が増えたことなどで、繭価が下落し、かつて大明神だけでも四十数戸の農家で営まれた養蚕も今では、村内で十数戸の農家のみで行われています。

田口さんは、蚕室の工夫や飼育方法を研究して省力化に努め、現在も年四回蚕を飼っています。相手が生き物だけに目を離せませんが、合間には、野菜を作ったりもできますし、なによりこの仕事が好きだから、きついなんて思ったことはありませんよ」と話してくれました。



樋口

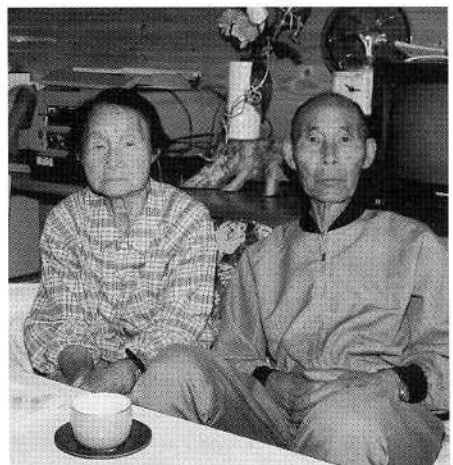
泰也くん

（二則さん・真世子さん 〓中谷）



わが家のスター

2 ツーショット お元気夫婦



安江正史さん、けんさんご夫妻

九月は、敬老の月。今月は、神付の安江正史さん、けんさんご夫妻をお訪ねしました。

このご夫妻は、正史さんが明治三十六年生まれで今年九十二歳、けんさんが明治三十九年生まれの今年八十九歳で、お二人合わせて百八十一歳は村内のご夫妻の中で最高齢です。

正史さんは、今月十五日に行われる郷土歌舞伎公演に向け、けいこに大忙しの毎日。「去年、体をわずらって舞台上に立てなかったの

でもうやめようと思っていたら、先生が「役を用意しておる」といわれるので……と大好きな歌舞伎の話はつきません。奥さんけんさんは、目が少々お悪く、耳も遠いようですが、毎日のように畑に出て体を動かすことが日課。「私のような体の弱い者は、動けんようになつたらしまいやでと思つて草刈りや野菜づくりを楽しみでやっています……」。

「何でも食べて、体を動かすこと」これがお二人の長寿の秘訣のようです。

今月のことば

都会にいとただのインテリアになってしまふ「木」というものが、ここに来て触れてみると生きものとしてメッセージを与えてくれるのです。 山口由美子 田舎体験で村を訪れた女性



集落めぐり

大沢

「大沢」のサワとは、山にはさまれた場所、山から水が流れ出る湿地を表し、また湧き水のみられるところが多い。大沢とはこういう大きい沢の意であろうか（新修東白川村誌より）。その地形が地名の由来とされる大沢地区。この地名についてこんな話があります。

『美濃国諸家系図』は、承久三年（一二二一年）、朝廷と鎌倉幕府の間に起こった争乱、世にいう「承久の乱」の戦功によって、大沢左衛門尉重道が加茂郡大沢郷を賜わったと伝えられています。この大沢郷が近世の大沢村であるという確証はないようですが、仮にそうであったとすれば、この地名は、中世初期から存在していたこととなります。

明治初年、この地区にあった蟠龍寺は廃寺になりましたが、残された石垣が廃仏毀釈の状況を今に伝えています。

図書室発・あなたへ

「良い大人と悪い大人を区別できる目を養ってください。良い大人とは、人生のいつくしみ方を知っている人たちです。悪い大人はすべてにおいてけちな人です。若いとは無駄なこととの連続です。しかしその無駄使いをしないと良い大人にはなれないのです。あなたの人生を恋や友情にほんの少し無駄使いしてみませんか。」



「放課後の音符」
山田 詠美著

ホットアングル

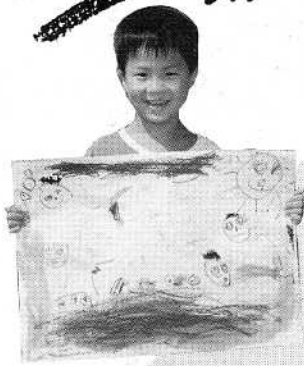


このほど村の社会福祉協議会へ、日本赤十字社からライトバン1台が貸与されました。この車は「災害救援車」と呼ばれるもの。赤十字社では、その活動の一環として全国の各分区からの要望で車のほか天幕などを毎年貸与しています。村に到着した救援車は、今後緊急時はもちろん、社協の活動などに幅広い活躍が期待されています。



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみれば何う！
1歳のあの子の顔が……

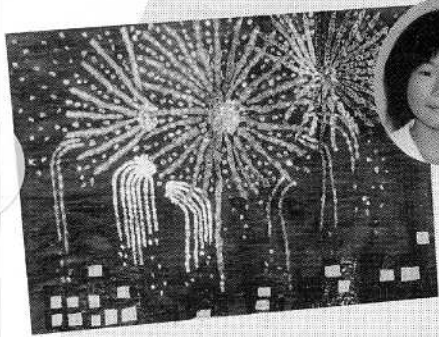
発表 わたしの作品



▲「川あそび」
神土保育園
おおさわひこなくん (平)



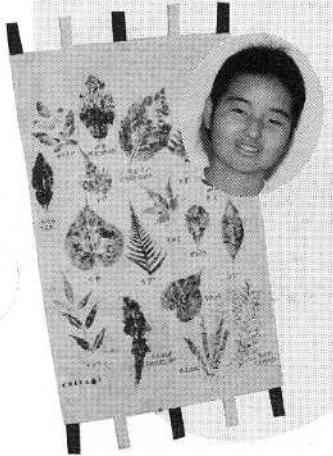
▲「川あそび」
神土保育園
しまくらりかこちゃん (平)



▲「花 火」
東白川小学校3年生
嶋倉美穂子さん
(陰地)



「交通安全ポスター」▶
東白川小学校6年生
今井戸母子さん (加舎尾)



▲「タペストリー」
東白川中学校2年生
安江知佳さん (日向)



▲「スケッチ」
東白川中学校1年生
今井智恵美さん (大沢)

○盆の客を送り出だしてやれやれと独り占める扇風機の風
梅雨冷えは夏の野菜に影落し丹精こめし茄子は不作ぞ
うち建てし碑に平和願いつつ元軍人の戦後終りぬ
○何鳥かツーツーピーと声優し暑気当りして臥しつづ聞けば
山鳩のふみ鳴く声聞きにつづ梅雨晴れの畑に馬鈴薯掘る
美しきその名を持てる真珠湾に沈みて五十年アリゾナ号は
旧校舎を炎天の中ショベルカーの崩しゆく様しばし見て佇つ
御嶽に高原の花咲きみちて心地よきかぜ鈴の音に吹く
戦に敗れ還りて五十年目の終戦迎ふ夫はベッドに
○山あいのつり橋ゆけば吾髪をそつとなでたる栗の花房
洗い髪乾しつづ迷いまよいけりどの服装で行こうか明日は
七夕の笹の流せぬ今の川焼きて願ひを天に托せり

安江 香
安江 化平
安江 嘉久一
今井 かな
安江 澄
小池 弘子
安江 節子
安江 龍玉
三戸 きり
安江 とくよ
小林 道子
早瀬 久子

もろこしで命継ぎし幼き日よ初獲り供へ今日を感謝す
○居間の客賑やかなれど懸りの無き寂しさにテレビ観ており
いつの間に来れしか山のキャンプ場二次会をそのキャンプ場でする
逝く夏を惜しむ山蝉しきり鳴き鮎釣り客ら眉をひそめぬ
盆参りに孫子ら明日は来ると云うすし作らむと朴の葉洗う
切絵師は刃先見つめて切り進む細かき作業に声をかけ得ず
亡き妻の好みし麵を茹で上げて盆の一日の供物にささぐ
早月晴れ大畑山のすそ野にて娘と松笠拾ひし夢みる
早暁の山道のぼりて御先祖等に盆の供花の叶うこの夏も

安江 順子
菊田 清美
安江 すみよ
安江 守平
田口 かずみ
伊藤 美枝
大明神 安江 清
今井詩愉一
伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を
歓迎します。偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。



最近、水曜日
と土曜日が待
ち遠しい、そ
れはサッカー
中継があるからである。しか
し、夜中の一時すぎなどとい
う録画中継も多い。そんなと
きはスポーツニュースを見な
いようにしておいて生中継の
雰囲気で見ようになっている。
夜中に一人でテレビを見なが
ら、ゴールシーンに声を殺し
てガッツポーズをしている様
子を他人が見たら滑稽だろう。

▼しかし、こんな気になるの
もグランパスの快進撃のせい
である。監督が替るだけでこ
んなにも変わるものであるから。
リーダーの存在が組織にとっ
ていかに大切かが分かる。ジ
コがアントラーズを変えたよ
うに、ベンゲルがグランパス
を変えたのである。▼Jリー
グの監督がほとんど外国人に
なっていくのはサッカーの発
展にとって今は大切なような
気がする。「名選手、名監督
に「あらず」という言葉がある
べきか一度じっくり考えてみ
たいものである。(H)